

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に係る調査結果 【令和元年度】（及び令和2年4月～9月分）

○目的

平成18年の「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、高齢者虐待についての対応状況等を把握するため、特別区を含む全市町村及び都道府県を対象として、厚生労働省で毎年実施している調査結果と、本市の虐待発生、対応状況等を比較することで、本市における虐待予防及び適切な対応に向けた検討を図ることを目的として、調査結果を取りまとめているもの

○長野市の状況 ※【】内はR2.4～R2.9の状況

◇通報件数◇

通報件数 136件（135人） 【74件（73人）】

◇虐待認定件数◇

虐待認定件数	46件 (46人) 【21件】 【21人】	身体的虐待	35件【12件】
		介護等放棄	13件【7件】
		心理的虐待	25件【3件】
		性的虐待	0件【0件】
		経済的虐待	7件【5件】

※虐待状況には重複あり

◇虐待への支援の状況◇

分離・保護	26件	【11件】
支援・相談	20件	【10件】

◇令和元年度の概要◇

虐待の通報件数は、平成18年度以降、約80～90件で推移し、平成27年度以降100件を超え、令和元年度は前年より増加している。

虐待の認定件数は46件であり、相談・通報のあった事案の33.8%程度を「虐待」として認定している。

◇令和2年度の概要◇

【虐待の通報件数、認定件数ともに、令和元年度と比較し大きな変化は見られない。】